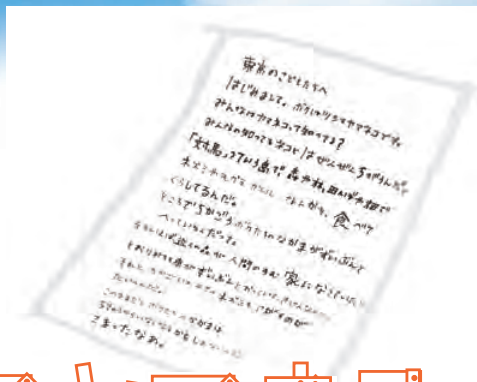


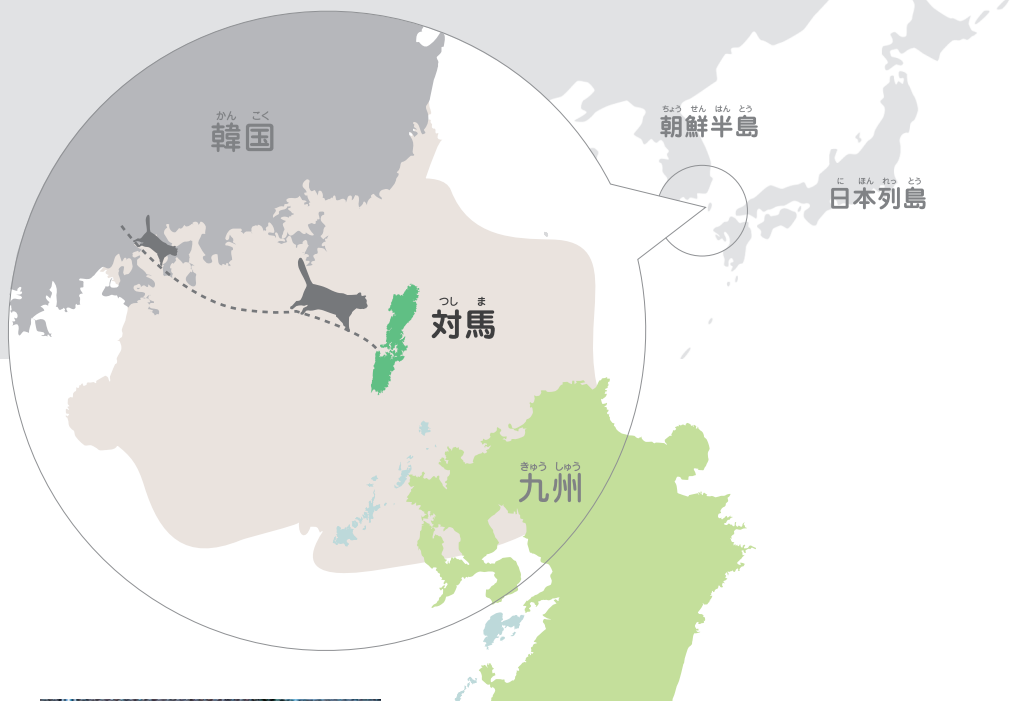


ツシマヤマネコ からの手紙



Inokashira Park Zoo

「対馬」とよばれる島に、ツシマヤマネコはくらしている。
九州と朝鮮半島の間にうかぶ対馬は、距離的には朝鮮半島に近い。平らなところが少なく、ほとんどが山だ。森や林がたくさんあって、ほかにもいろいろな生き物がくらしている。



ツシマジカやツシマサンショウウオは対馬だけに生息する

ツシマヤマネコの祖先はずっとむかし

約 10 万年前、大陸(朝鮮半島)と対馬が陸でつながっていたところに、大陸から渡ってきたそう
だ。それからずっと対馬でくらしてきた。
対馬は日本列島とも陸でつながったことがある
ので、日本から渡ってきた動物もくらしている。
対馬が島になってからの長い間に、島で進化し
た対馬にしかいない動物もいる。

ツシマヤマネコはみんなの知っているネコとはちがう。

ニャーとは、なかなか。イエネコは人間がペットにするために改良した「家畜」で、ツシマヤマネコは野生のネコ。日本にくらす野生のネコはツシマヤマネコと沖縄県西表島にくらすイリオモテヤマネコだけだ。

ツシマヤマネコの特徴

耳の先が丸い。
裏には、トラやヒョウにもある
白い斑点がある。
暗い森のなかで、親と子や
仲間どうしを見つけるのに役立つ

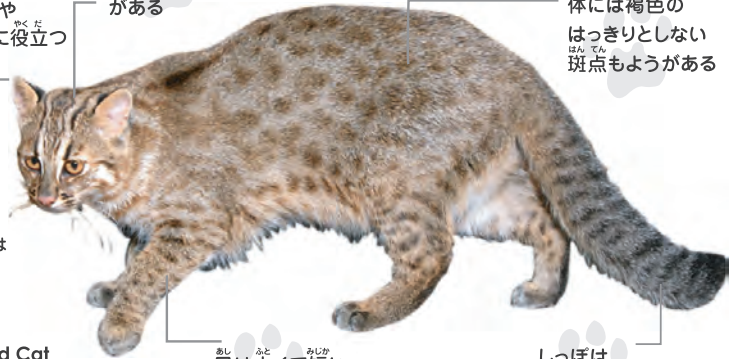


ニャーとは
なかなか!

ひたいに白黒の
たてしまもよう
がある

体重は3kgから5kg、
体長は50cmから60cm

体には褐色の
はっきりしない
斑点もようがある



足は太くて短い
胸長短足

しっぽは
太くて長い

ツシマヤマネコ

英名: Tsumi Leopard Cat

学名: *Prionailurus bengalensis euptilurus*

環境省レッドリスト: 絶滅危惧IA類

ツシマヤマネコという

名前がつけられる前は、
「トラヤマ」「タネコ」と

対馬ではよんでいた。ツシマヤマネコ
は森や林ですごすだけでなく、田んぼ
や畑、ときには川や海岸などにもあら
われ、ときどきは人と出会った。ツシマ
ヤマネコは人の身近にいた。



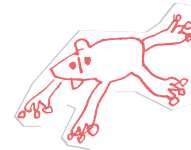
ネズミやモグラ、カエルやヘビ、

鳥や昆虫、ツシマヤマネコはいろいろな生き物を食べる。人間が手入れをしていた雑木林や畑、田んぼはエサとなる生き物がいっぱいいた。

ときには、人間が飼っているニワトリを食べることもあった。ヤマネコは人のくらしの近くで、人とともに生きてきた。



ツシマフトギス



アカマダラ

ツシマヤマネコが生きていくには、さまざまな生き物がくらす豊かな自然が必要だ

人の暮らしを豊かにするため、森や林は、

スギやヒノキの植林になり、ヤマネコがすみにくくなった。手入れされなくなった雑木林や田畑は、エサの生き物がへってしまった。道路がすみを分断し、対馬はだんだんとヤマネコにとってくらしにくくなってしまった。



放置されたスギやヒノキの植林地は、ヤマネコのエサとなる生き物がすみにくい



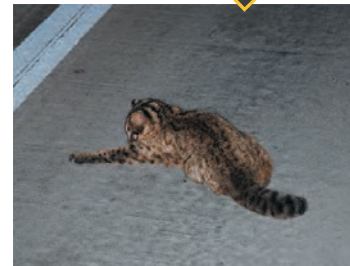
人間の都合で、森がけずられ、道路ができた

交通事故にあって、死んでしまうこともある。

道路が、ヤマネコのすみかのまん中をとおっていることもある。1992年から2016年3月までで、わかっているだけでも84頭のヤマネコが交通事故で死んでしまった。



ヤマネコへの注意をうながす標識



交通事故で死亡したツシマヤマネコ

はなし飼いのイエネコやノラネコから

猫免疫不全ウイルスなどがうつすることもある。人がイタチを捕まえるために仕掛けるトラバサミにかかってしまったり、ノライヌにおそわれたりすることもある。



ツシマヤマネコの生息地に設置された自動撮影カメラに写ったノラネコ

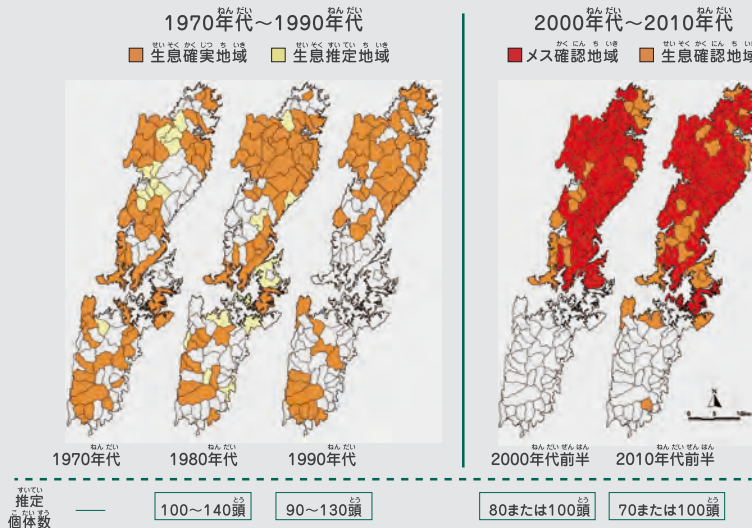


撮影：川口誠

ツシマヤマネコは、ずっとむかしから対馬で人間とともに生きてきた。でも、人間のくらしが変わるにつれてヤマネコをとりまく状況も変わった。ヤマネコがへっていることと人間のくらしは大きく関係している。

ツシマヤマネコは、だんだんと減ってきた。

1960年ごろまでは250頭から300頭いたのに、2010年代前半には約70～100頭になってしまった。少し増えたようにも見えるかもしれないが、生息密度が減少している地域があって、徐々に生息環境が悪化しているのかもしれない。

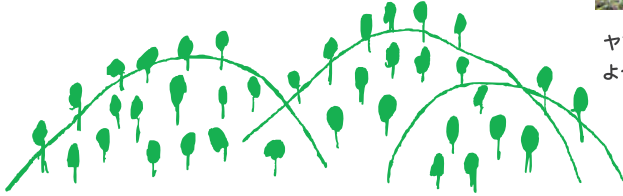


ツシマヤマネコをまもるために

ツシマヤマネコをまもるために、地元住民、NPO 法人、
対馬市や長崎県、環境省、そして動物園などが、さまざま
な保全活動を行っています。大切なのは、ツシマヤマネコ
の生息環境の維持と改善です。ヤマネコがくらしやすい
昔ながらの森や田畑の再生などに取り組んでいます。



ヤマネコのエサであるネズミがたくさん集まる
ように、昔ながらの農業、木庭作(焼畑)を復活



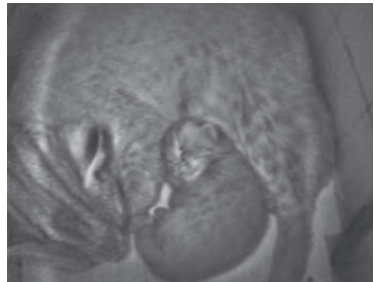
動物園の取り組み

動物園は環境省に協力して、ツシマヤマネコ保護増殖事業に取り組んでいます。もしも野生で絶滅した場合の保険として、また対馬の環境が改善された時に生息地にもどせるように、飼育下で繁殖させ、個体数を増やしておくことが重要です。

すでに繁殖に成功している福岡市動物園や九十九島動植物園をはじめ、いくつかの動物園が協力して、今後、飼育下繁殖個体群をさらに増やす計画です。動物園で得られる科学的データは、生息地での保護活動にも役立ちます。

井の頭自然文化園では

井の頭自然文化園では、いま、人工授精の技術を利用して、飼育下での繁殖に取り組んでいます。また、より効果的な繁殖を目指し、他の動物園や対馬野生生物保護センターとの間で、個体の移動をおこなっています。



2014年には、近縁のアムールヤマネコの人工授精に成功。無事に子が生まれ育成している。

動物園でできること

飼育下での繁殖とともに、ツシマヤマネコの現状を皆さんに伝えていくことが、動物園の重要な使命であり、年間何十万もの人が訪れる動物園だからこそできることです。

井の頭自然文化園は、様々な活動とおして、ツシマヤマネコのことを伝えていきます。ツシマヤマネコだけでなく、いま、たくさんの動物が地球上から消えようとしています。ツシマヤマネコをきっかけに、私たち人間が何をすべきか、何ができるかを、皆さんも考えてみてください。

日本、そして世界中にくらすたくさんのいきものたち。

ツシマヤマネコの他にも 多くのいきものが絶滅の危機にあります。

そんないきものたちを守るため、

ちょっとしたことからはじめてみませんか？



わたしたちと いきものたちの ために できる 5 つのこと

みんなができそうなことに
チェックをいれてね

① ふれよう

動物園や水族館、海や森に
いきものたちに会いに行くよ！



② たべよう

環境に優しいものを食べるよ。
例えば、佐護ツシマヤマネコ米は
ヤマネコにも優しい作り方をしているよ！



③ えらぼう

環境に優しい商品をえらぶよ！
(このパンフレットはFSC 森林認証紙に印刷されているよ)



④ まもろう

いきものを守る活動に参加するよ！
＊ツシマヤマネコを守る活動は、対馬野生生物
保護センターのホームページを見てね



⑤ つたえよう

今日教えてもらったヤマネコやいろんな
いきもののことをみんなに伝えるよ！



もっと詳しく
知りたい人は
ホームページで



国連生物多様性の10年日本委員会
<https://undb.jp/action/>

対馬野生生物保護センター
<http://kyushu.env.go.jp/twcc/>

井の頭自然文化園

〒180-0005 武蔵野市御殿山1-17-6 TEL 0422-46-1100

協力 対馬野生生物保護センター
対馬市役所

制作・発行 公益財団法人東京動物園協会(2008.3)
2022年10月 第3版 4刷



Aki Fueda
Naoko Kitamura